1. 高知県地域環境保全基金の残高等

			金額(単位:円)	備考
	基金総額((前年度末基金残高)	400, 000, 000	
(Ī)		うち、国費相当額	200, 000, 000	
(1)	内訳	うち、地方負担相当額	200, 000, 000	
		うち、負担附寄附金等	0	
2	基金運用益	E	2, 662, 181	一般財源に繰入 基金事業の事業費に充当
3	その他収入		0	
4	負担附寄附	金等	0	
(5)	返納額		0	
6	基金執行額	(処分額)	15, 143, 303	内訳は下表のとおり
	基金残高		384, 856, 697	(=1+3+4-5-6)
(7)		うち、国費相当額	192, 428, 348	
	内訳	うち、地方負担相当額	192, 428, 349	
		うち、負担附寄附金等	0	

2. 保有割合

	11: 14 H4 H			
	次年度の基金類型 取崩型		金額 (単位:円)	備考
8	基金残	高	384, 856, 697	
9	事業費(次年度から終了年	F度までの見込額)	144, 528, 000	
10	保有割	合	2. 663	= (8/9)

保有割合の算定根拠

運用型:運用益見込額÷事業費(次年度見込額)

取崩型:基金残高÷事業費(次年度から終了年度までの見込額)

3. 事業一覧

番号	事業名		事業費		備考	達成度	事業費	事業費	
留万	尹未石	合計	合計 一般財源等 基金		佣与	建队及	(次年度)	(終了まで)	
1	公共交通利用促進啓発事業	715, 790		715, 790		10%	800,000	7, 200, 000	
2	環境共生型住宅普及促進事業	717, 216		717, 216		95%	752, 000	1, 470, 000	
3	協働の森フォーラム開催等委託事業	3, 835, 680	431, 520	3, 404, 160		7%	3, 253, 800	35, 652, 000	
4	地球温暖化防止活動普及啓発事業	6, 424, 384	39, 384	6, 385, 000		10%	8, 591, 908	59, 672, 000	
5	高知県環境活動支援センター事業	15, 950, 604	12, 029, 467	3, 921, 137	運用益を一般財源 に繰入	58%	4, 534, 472	40, 534, 000	
6		0							
7		0							
8		0							
9		0							
10		0							
11		0							
12		0							
13		0							
14		0							
15		0							
	슴 計	27, 643, 674	12, 500, 371	15, 143, 303			17, 932, 180	144, 528, 000	

4. 基金事業の目標に対する達成度

高知県における森林吸収量に に14%削減する。	は反映した温室効果ガスの排出量を2013年度(8, 257千-CC)2) 比で2027年度まで
成果実績	7, 863	
目標値	7, 101	
達 成 度	34%	

事 業 名	公共交通利用促進啓発事業	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	平成30年度
担当部署	中山間振興・交通部 交通運輸政策課	終了年度	平成39年度

1. 目的及び目標(値)

小学生向け公共交通利用促進啓発パンフレット等を制作・配付することで、公共交通の利用促進を図り、温室効果ガス排出 量の低減につなげる。

目標(値)

各年度において、県内全ての小学校の全児童に対し、公共交通利用促進啓発パンフレット等の配付を実施する。 ※参考 (H29年度実績)

- ①バス・電車割引パスポート:40,200部
- ②イベントリーフレット: 42,000部(公共交通事業者配付分含む)
- ③バス・電車乗り方ガイドブック:7,000部(小学校4年生のみ)

2. 概要

中水	4	HIII	-
サラ	€1	坏	安

小学生向け公共交通利用促進啓発パンフレット等の制作・配付業務を委託する。

川北印刷株式会社

3.	根拠法令	Ŧ
J.		ন

特になし		

4. 実施内容等

- ①バス・電車割引パスポートの制作・配付(県内全小学生対象)39,600部

 - ・休日のバス・電車利用が小人運賃の半額になる割引パスポートの制作・配付 ・交通事業者への割引パスポートの取組に対する協力依頼については県が実施
- ②イベントリーフレットの制作・配付(県内全小学生対象)41,300部
 - ・夏場に実施される公共交通利用促進イベントのリーフレットの制作・配付
 - ・NPO、交通事業者、県等が協力して実施
- ③バス・電車乗り方ガイドブックの制作・配付(小学校4年生のみ)7,000部
- ・バスや路面電車、鉄道などの乗り方をレクチャーするガイドブックの制作・配付を行う。 また、ガイドブックを活用して、交通事業者が県内の小学校で出前授業を実施し、その中で公共交通を利用すること による温室効果ガスの排出削減効果について普及啓発を実施。

事 業 名	環境共生型住宅普及促進事業	新規·継続区分	継続
事 項 名		開始年度	平成22年度
担当部署	商工労働部 産業創造課	終了年度	平成32年度

1. 目的及び目標(値) 目的

住民に「こうちェ	エコハウス」のメリットを直接体験し	てもらい、環境負荷の少ない地	域づくりを目指す。	
目標(値) 来館者数:1,000	0人(年間)			

2. 概要

)を活月		
設した	こ「こう	ちエニ	ュハウン	ス」をД	与く 一角	殳に公	開し、	その	良さる	と認識	、体験	してい	へただ	こくこ。	とによ	り、	環境へ	への理解	や関。	心を
高め、	環境に	優しレ	`家づく	くりや、	高断熱	外化や	木質化	ムによ	る省ニ	ニネ住	宅の普	及に向	句けた	取り約	組みに	つな	:げる。			

3. 根拠法令等

平成20年度環境共生地域づくり補助金(21世紀環境共生型住宅のモデル整備による建設促進事業)	交付要綱
(平成21年3月10日付け環政計発第090310001号)	

4. 実施内容等

- 「こうちエコハウス」の運用管理及び広報を民間事業者へ委託する。業務内容は以下のとおり。 ①日常的な清掃や建物・設備の管理 ②開館日に担当者が常駐し、来館者の対応を行った。 ③テレビ、フェイスブック等での広報活動や、セミナー、住宅相談会等のイベントを実施 ④施設の利用を希望する方からの申請を受け付け、県に提出

事 業 名	協働の森フォーラム	新規·継続区分	継続
事 項 名		開始年度	平成18年度
担当部署	林業振興・環境部 林業環境政策課	終了年度	平成39年度

1. 目的及び目標(値)

「環境先進企業との協働の森づくり事業」のパートナーズ協定者である高知県、企業・団体、市町村、森林組合等に加 え、一般県民が集まり、地球温暖化や森林の再生などの理解や関心を高めるための普及・啓発を行う。 実績 (値)

参加者数 160名

2. 概要

事業概要:企業や団体・市町村・森林組合及び県民を対象として、地球温暖化についてや森林の再生などの理解を深める フォーラムの運営業務を委託

委託先:株式会社ユーエスケー

3. 根拠法令等

4. 実施内容等

第12回協働の森フォーラムの運営委託

・地球温暖化についてや森林の再生などに関する基調講演 講師:一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構理事長 村上周三 氏・企業・団体、市町村等による協働の森づくり事業の取り組みに関するパネルディスカッションの開催

パネリスト:北海道下川町政策推進課SDGs推進戦略室長 蓑島豪 氏、

高知県大豊町長 岩崎憲郎 氏、コクヨ株式会社人事総務部環境ユニット長 齊藤申一 氏、

NTT西日本グループ西日本電信電話株式会社総務部CSR推進室長 船瀬武資郎 氏

・高知県から協定5周年及び10周年企業・団体へ感謝状の贈呈

5周年企業・団体:株式会社四国舞台テレビ照明 10周年企業・団体:日本道路株式会社 他12社(団体)

フォーラム参加者目標を達成するため、以下の活動を実施した

- ・企業・団体、市町村、森林組合等へのチラシの配布及び出欠のとりまとめ ・コンビニなど一般県民が利用する施設へのチラシの設置
- ・市町村が発行する広報誌への掲載依頼
- ラジオやテレビでの告知
- ・県のHPやツイッターなどでの情報発信

※パートナーズ協定・・・企業・団体、市町村(森林組合等)、高知県による3者(又は4者)による協定を締結する。 企業・団体から協賛金を提供していただき、各市町村の手入れの行き届かない森林(市町村有林等)の整備を行うことで CO2吸収源等の森林の持つ公益的機能を高める。県はコーディネーターとして企業と市町村の総合調整を行う。

事業番号 様式2別紙1 (実績個表) 4

平成30年度 事業報告書

事業名	地球温暖化対策活動普及啓発事業	新規・継続区分	新規
事項名		開始年度	平成30年度
担当部署	林業振興・環境部 新エネルギー推進課	終了年度	平成39年度

1. 目的及び目標(値)

目的

地球温暖化問題については、平成27年末パリで開催された気候変動枠組条約第21回締約国会議において、すべての国が参 加する初めての温暖化対策の枠組みである「パリ協定」が採択され、国際的な取組が大きく動き出そうとしており、それに 伴い高知県内における地球温暖化対策も喫緊の課題となっている。

しかし、平成28年度に実施した県民世論調査では、地球温暖化問題に対して「関心がある」と回答した県民は88.2%と高

い結果であるものの(非常に関心がある39.5%、少し関心はある48.7%)、各取組の実施率は高いとは言えない。 そこで、省エネルギー行動の実践や効果的な情報発信、関係者からなる事業推進体制の構築により、地球温暖化防止活動 を実行に移す県民(以下「行動変容県民」という。)の増加を図る。

目標(値)

- ①行動変容県民の増加として、自宅または職場にLEDを導入4,000個、自宅または職場にLEDに低燃費車を導入600台。 ②ホームページでの情報発信として既存の高知県地球温暖化防止県民会議(県民部会・事業部会)ホームページの改修し、) メッセージ動画を15本以上掲載。
- ③情報の拡散として、マスメディアの活用し、CM放送計250から300回、番組放送計20から25回。メッセージ動画の拡散。 県内市町村と連携しエコイベントを開催。

2. 概要

地球温暖化防止のための行動について、ホームページ、マスメディアを通じて効果的な情報発信を行いながら、県民を巻 き込んだ地球温暖化防止の取組を委託により行った。

3. 根拠法令等

地球温暖化対策の推進に関する法律(平成10年法律第117号) 高知県環境基本条例(平成8年条例第4号)

4. 実施内容等

既存の高知県地球温暖化防止県民会議(県民部会・事業者部会)のホームページを連動し、事業全体のハブ機能を果たす ホームページを作成し、県民会議に関する情報及び県内の地球温暖化防止関連のイベント等の情報、テレビ・ラジオ等の活

用により効果的な情報の発信を行うことで、地球温暖化問題に対する認知度の向上を図った。 また、地球温暖化防止の取組を実践している県民、事業者及び自治体を紹介するとともに、地球温暖化防止に関する県内の著名人等からのメッセージ動画をアップすることにより、地球温暖化防止に取り組んでいる人々が自分たちの身近にいる こと、気軽にできる行動が地球温暖化対策につながること等を伝え、地球温暖化問題が他人事ではなく身近な問題であり且つ個人レベルでもできる取組があることを伝えた。 加えて、販売店や団体の協力を得て、LEDや低燃費車の導入のキャンペーンを実施し、省エネルギー行動を促進するこ

とで、行動変容県民を増加させ、県民の意識変容を図るとともに二酸化炭素の排出を削減した。

○実績

- ①LED導入 実績7,580個(目標4,000個)
- ②低燃費車導入 実績1,949台(目標600台)
- ③ホームページでの情報発信

「Myスイッチ!Goクール!」のロゴ、オリジナルキャンペーンサイトを作成、運営し、各協力団体・企業の紹介記事や メッセージ動画15本を掲載した。

事 業 名	高知県環境活動支援センター事業	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	平成19年度
担当部署	林業振興・環境部 環境共生課	終了年度	平成39年度

1. 目的及び目標(値)

県民の環境活動や環境学習を推進するため、環境情報の発信や環境学習講師の派遣、環境イベントの開催、生物多様性の 保全の普及活動などの事業を高知県環境活動支援センターが実施することにより、県民一人ひとりの環境への関心を高めて 環境にやさしいライフスタイルの輪を広げ、地球温暖化対策が進んだ低炭素社会等の構築を目指す。

目標(値)

- ①ホームページやメルマガでの情報発信:月4回、メールマガジン新規登録者数50人/年
- ②講師の派遣:年間受講者数1,800人
- ③エコ川柳事業:年間2回 応募作品数300作品/回
- ④環境絵日記事業:参加小学校数60校、応募作品数2,800作品
- ⑤こどもエコクラブ事業:新規クラブの登録数5クラフ
- ⑥地球温暖化と公共交通の出前授業:年間6校 参加者数200人
- ⑦環境イベントの開催:年1回、参加者数300人

2. 概要

環境活動支援センターの運営について委託する。

特定非営利活動法人環境の杜こうち

3. 根拠法令等

4. 実施内容等

- ①情報発信(メールマガジン配信回数:50回、メールマガジン登録者数:1, 161名)
 - ホームページやメールマガジンで環境イベントの開催情報や環境活動に対する助成金情報等の配信し、県民が 環境活動に参加するきっかけづくりや県内で環境活動を行う個人・団体への支援を行った。
- ②講師の派遣(環境学習受講者数:2,121人)
 - 学校等からの環境学習に関する相談に対し、適切な環境学習講師の紹介を行った。また、学校で環境学習を積極的に 取り組んでもらうため、環境学習プログラムを作成・配布を行った。
- ③エコ川柳事業(4月実施 応募作品数:209作品 10月実施 応募作品数:171作品)
 - 高知の自然環境や地球温暖化等の環境問題についての気づきや取組についての川柳を募集し、優秀作品を環境 イベントで展示した
- ④環境絵日記事業(参加小学校数:77校 応募作品数:4,160作品)
- 県内の小学生を対象に、子どもたちが夏休みに環境について考え、行動し、その経験を絵日記に表現することで、 温暖化等の環境への意識や理解を育むことを目的とした環境絵日記コンテストを実施。また、優秀賞作品は環境 イベントで展示や市町村事業で路面電車内への掲示、市指定のゴミ袋に印刷され、環境保全の普及啓発につながった。 ⑤こどもエコクラブ事業(登録クラブ数:12クラブ)
- - ども達の地域での環境保全活動、環境学習に対する講師の派遣を行った。また、こども壁新聞展・交流発表会を 2月に開催し情報交換・意見交換を行った
- ⑥地球温暖化と公共交通の出前授業(実施校数:6校、参加者数:415人)
 - 小学生を対象に公共交通の利用促進によるCO2削減を目的に出前授業を県内6校で実施。
- ⑦環境イベントの開催 テーマ:「環境活動見本市in黒潮町」(来場者数:350人、出展・参加者数:18団体・個人) 環境活動団体や環境学習講師の活動を紹介するとともに、環境学習講師の紹介・派遣の普及を図ることを目的とした、 こどもから大人まで楽しみながら環境について学ぶことができる体験型環境イベントを12月に開催。
 - (自転車人力発電による定量的な仕事率(w)の体験、高知県の木を使ったおもちゃコーナー、環境学習講師の紹介、 パネル展、環境絵日記Tシャツアート展)